

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）
平成 29 年度採択テーマ
事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合評価
地形発達史の視点から表層崩壊による土砂の生産・移動履歴を評価した土砂流出モデルの開発 (研究期間：H29 年度～R1 年度)	山梨大学 准教授 後藤聡	C
<p><研究概要></p> <p>本研究では、地形発達史の視点から表層崩壊による土砂の生産・移動履歴を評価した土砂流出モデルを開発することが本研究の目的である。主に地形的指標による土砂生産評価と階層構造分析法（Analytic Hierarchy Process；AHP 法）を結び付け土砂生産ポテンシャルを求める手法の提案，LIDAR データから作成した標高差分値との検証，および土砂生産ポテンシャル（評価値）を初期値とした流域における土砂流出シミュレーションによる評価などを行い，以上に示す土砂流出モデルを提案した。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>本研究は、AHP 法を用いた流域での土砂生産ポテンシャル値を求める手法が検討されており、大規模な崩壊地形の発達・縮小、火山噴火後の土砂流出・地形変化等の長期的傾向の解析への活用が期待される。</p> <p>今後は、砂防調査等で裏付けされたパラメータの使用とその感度分析を行うとともに、地形発達史を考慮する研究として、地形面の年代などに着目した検討が必要であると思われる。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い